

第74回秋季東北地区高等学校野球大会

□大会第3日目 10月23日(土)

準々決勝	石巻市民球場	2時間	36分			打	安	点	盗	犠	四	三	残	失	併
仙台育英	0 0 0 0 0 0	0 2 0		2	【仙】	33	8	2	0	1	2	5	7	2	0
花巻東	1 0 0 1 1 3	0 2 X		8	【花】	29	11	6	2	3	12	5	12	0	
(球) 三浦 徹 (一) 菅原 幸 (二) 野田 学 (三) 鈴木 渉															
【仙】 斎藤 蓉, 小林, 田中															
【花】 萬谷															
▽暴投 斎藤蓉2(仙)															

【評】
 花巻東高校は序盤から効率良く攻め立てて得点を重ねた。また、重盗による得点など攻撃の手を緩めることがなかった。
 仙台育英高校も再三ランナーを出したが、相手投手を攻めきれず馬場君の2ランホームランの2点に終わった。
 花巻東高校の先発萬谷君の丁寧に打たせてとる丁寧なピッチングと粘り強い守りが光り、見事ベスト4進出を決めた。

準々決勝	石巻市民球場	1時間	34分			打	安	点	盗	犠	四	三	残	失	併
聖光学院	3 5 0 0 5			13	【聖】	27	15	13	3	3	6	1	8	0	1
能代松陽	0 0 1 0 0			1	【能】	17	3	1	0	0	3	2	4	3	1
(球) 佐藤拓哉 (一) 太田博昭 (二) 加藤修一 (三) 曾根徳明															
【聖】 佐山, 小林															
【能】 三浦, 森岡															
▽暴投 なし															

【評】
 聖光学院は右腕佐山、能代松陽は右腕三浦の両エースの先発。聖光は1回表2番生目田の中前打、3番山浅、4番三好の四死球で満塁とし5番安田の中前打と6番嶋田の1塁への内野安打で3点を先制した。2回にも1番赤堀の中越え2塁打とセンターの悪送球で無死3塁とし生目田のショートゴロで4点目、山浅の右翼線2塁打と三好の右前打で5点目、安田のバントヒットと嶋田のレフトオーバー2塁打で6点目、7番伊藤のライトへの犠飛で7点目、8番高中の左中間3塁打で8点目を加え試合を決定づけた。5回にもヒット4本と四死球3つで5点を加え、能代松陽を突き放した。
 対する能代松陽は3回裏にヒット2本と2つの四死球で1点を返したが、聖光の佐山と5回から登板した2番手小林にわずかヒット3本に抑えられた。

準々決勝	仙台市民球場	2時間	6分			打	安	点	盗	犠	四	三	残	失	併
大館桂桜	0 0 1 0 1 0	0 0 0		2	【大】	31	5	2	0	2	6	9	10	0	0
八工大一	0 0 0 0 0 3	0 2 X		5	【八】	30	8	5	2	1	5	5	7	2	0
(球) 沼辺力也 (一) 細川和行 (二) 毛利 晃 (三) 森山安則															
【大】 福田															
【八】 廣野															
▽暴投 福田3(大)															

【評】
 大館桂桜福田、八工大一廣野両エースが先発。先制したのは大館桂桜。四球、犠打で1死2塁から1番石倉の2塁打で1点を先制。5回には1番石倉のライト前ヒットで出塁、ライトがはじく間に2塁へ、2死2塁から3番福田の右中間への3塁打で1点を追加し2-0とする。
 八工大一は6回に反撃。ヒット2本と四球で満塁とし、死球の押し出しで1点、5番館のレフトオーバーの2点タイムリーで3点を挙げ逆転。8回には2つの四球で2死1・2塁から8番廣野の3塁打で2点を追加。6回以降八工大一の廣野は大館桂桜打線を抑え、ベスト4に進出した。

準々決勝	仙台市民球場	2時間	0分			打	安	点	盗	犠	四	三	残	失	併
山形中央	0 0 0 2 1 0	0 0 0		3	【山】	34	9	3	1	2	1	9	7	4	0
青森山田	0 2 1 1 0 0	0 0 X		4	【青】	32	9	2	0	1	1	9	6	2	0
(球) 西山 充 (一) 雁部博昭 (二) 佐々木勝弘 (三) 浅野卓也															
【山】 武田															
【青】 木村, 堀内															
▽暴投 なし															

【評】
 2回裏、青森山田は5番向中野、6番山田の連打の後、犠打で1アウト2・3塁とすると8番衛藤の内野ゴロの間に1点を先制、続く9番木村がレフト前にはじき返し2点目をあげる。
 4回表、3点を追いかける山形中央はランナー1人を置いて4番木村がバックスクリーン左へ2ランホームランを放ち1点差に迫る。
 その後両チーム1点ずつを取り試合は後半へ進むが、6回から登板した青森山田堀内、山形中央は先発の武田両左腕がランナーを出しながらも得点を許さず、青森山田が3対4で準決勝進出を決めた。

